やまと 市議会だより

第335号
令和８年(2026年)11月1日
【編　集】
広　報　委　員　会
【発　行】
大　和　市　議　会

９月定例会

令和７年度 決算を認定

一般会計歳出総額
９３６億６３８３万円
実質収支額
４５億６１１４万円



Lucky Get Big Project　～多文化共生クリーンアップ～（９月２７日）

令和８年第３回定例会（９月定例会）は８月２７日から９月２５日までの３０日間の会期で開かれました。

今定例会には、令和７年度一般会計歳入歳出決算についての認定をはじめ２２件が市長から提出され、請願２件、陳情２件とともに審議されました。そのほか、議員提出議案３件が審議されました。

令和７年度一般会計歳入歳出決算の概要

今回の決算は、歳入総額９８５億５７８２万３千円、対前年度比で４．９％の増加、歳出総額９３６億６３８３万１千円、対前年度比で３．２％の増加となりました。

また、実質収支額（決算剰余金）は、対前年度比で４５．１％増加し、４５億６１１３万７千円となりました（歳入歳出の状況は２面に掲載）。

その他の議案

今定例会では、国民健康保険事業特別会計等、３件の特別会計決算のほか、病院事業会計及び下水道事業会計の決算についても審議されました。また、その他の議案としては、大和市景観条例の一部改正、一般会計補正予算（第２号）、一般会計補正予算（第３号）、国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）等がありました。

定例会における審議

各議案等は、本会議で市長による提案理由説明が行われた後、各常任委員会に付託され審査が行われました（各常任委員会における一般会計決算の審査内容は３面、その他の議案は４面に掲載）。

最終日の９月２５日には、所管の各常任委員長からの審査報告の後、討論を経て、全て認定又は原案のとおり可決されました（各党・会派の一般会計決算の討論内容は、２面に掲載）。

また、同最終日には、人権擁護委員候補者の推薦についての諮問６件、固定資産評価審査委員会委員の選任についての議案１件が追加で上程され、市長による提案理由説明が行われた後、全て同意されました（議案の内容は、５面に掲載）。

本会議におけるそれぞれの審議結果の詳細は、８面を御確認ください。なお、各常任委員会での審査結果は、市議会ホームページに掲載しています。

定例会の流れ

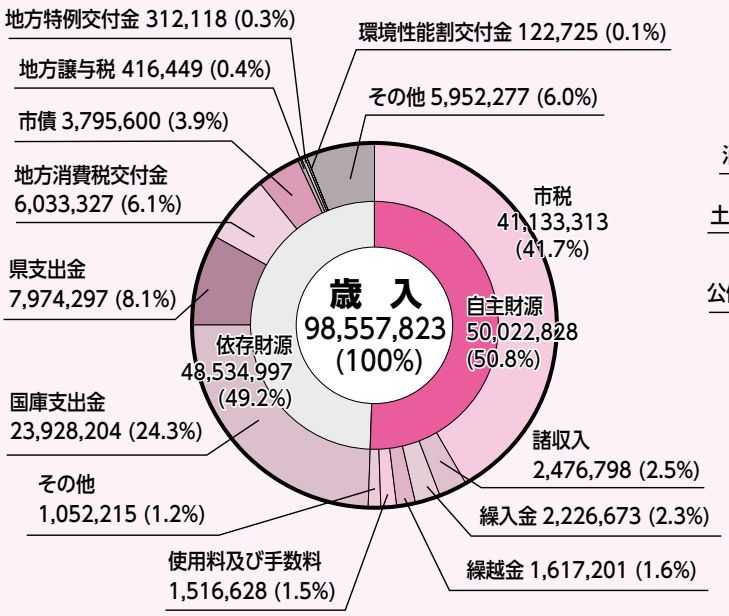
本会議
- 議案上程・提案説明
- 委員会付託

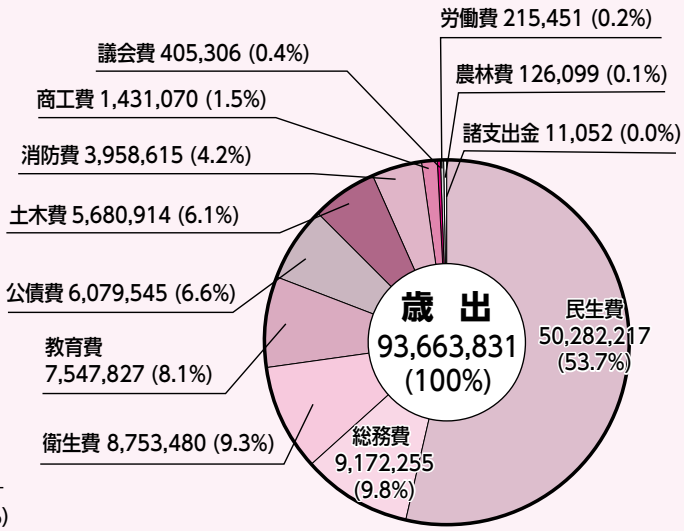
委員会
- 議案等審査
  - 議案等審査は、執行機関からの説明の後、質疑、討論を経て採決を行います。
- 請願・陳情審査
  - 請願・陳情審査は意見陳述（ない場合もあります）の後、質疑、討論を経て採決を行います。

本会議
- 一般質問
- 委員長報告
- 質疑・討論
- 採決

詳細は市議会ホームページを御覧ください　大和市議会　検索　クリック

令和７年度一般会計決算について





単位千円、（　）内は構成比
※端数処理の関係で合計が一致しない場合もあります。

一般会計決算に対する各党・会派の討論（会派の正式名称は８面参照）

〈賛成討論〉

自民新

令和７年度決算は一定の改善が見られ、単年度収支も大幅に改善したが、経常収支比率はなお高水準であり財政硬直化への懸念は根強い。来年度の予算編成では財政健全化の取組に対し油断することなく精査し、市民の安定した暮らしを担保する健全な行財政運営を求め、賛成する。

公明

少子高齢化の進展に伴う社会保障関係費の増大等により財政運営は厳しさが増すと予想される。令和8年度に策定予定の財政健全化プランで具体的な取組を定め、事業の優先順位づけによるビルド・アンド・スクラップを図り将来にわたり持続可能な財政運営に努めることを要望し、賛成する。

自由

令和７年度は黒字決算となったが、実質単年度収支はマイナスであり、引き続き予断を許さない状況にある。今後も財政運営の厳しさが増すことが予測される中、令和７年度に策定した財政健全化ビジョンに基づき、将来にわたり持続可能な財政運営に努めることを強く要望し、賛成する。

ネット

厳しい財政状況の中でも、市民の声を施策や事業の見直しに反映し、必要な予算を確保することが重要。福祉・教育・安全安心を守り、誰もが安心して自分らしく暮らせる大和市の実現に向け、市民の声を生かしながら限られた財源を本当に必要な施策に活用していくことを求め、賛成する。

〈賛成討論〉

立民

市民生活の基盤を支える各施策を着実に実施したことを評価する。一方、税収の増加や財政調整基金の繰入れだけで財政状況を楽観せず、財政の硬直化を直視し、事業の選択と集中、安定財源の確保、市民に分かりやすい成果指標の設定を進め、持続可能な行財政運営を求め、賛成する。

大和i

令和７年度決算は、監査委員も決算内容及び予算執行状況についておおむね適正と認めている。一方で、経常収支比率の改善は税収増などによる面が大きく、財政の硬直化は続いている。財源の構造的な問題を直視し、行財政運営に取り組むことを強く求め、賛成する。

〈反対討論〉

共産

令和7年度決算は、財政健全化を理由に少人数指導など教育予算を削減する一方、デジタル化を進めている。市民の暮らしと命を守る施策を最優先に、教育環境の充実、気候危機への対策、基地機能の縮小・撤去、平和なまちづくりを市民とともに進めることを求め、決算に反対する。

虹の会

今の財政健全化は、市の財布に固執している。１０００人弱が就学援助の認定をもらえず、認定率は８割から６割に落ちた。待機児童は７名で県内ワースト２位。児童虐待の相談件数が３０％も伸びたのは繰り返し進めてきた負担増の影響ではないか。暮らしを削る健全化の決算に反対する。

詳細は市議会ホームページを御覧ください　　大和市議会　検索　クリック

令和７年度一般会計決算における主な委員会質疑

総務常任委員会

質疑　滞納整理・処分事務について、財産差押え実績の件数が前年度と比べ増えている要因は。

答弁　財産調査において、令和６年度から電子照会システムを利用していることが大きな要因である。電子照会に対応した金融機関等については一括して複数調査ができ、これまでの文書照会では数か月かかっていた回答が数日で得られるようになり、より新しい情報での対応が可能となった。また、預貯金口座の新しい情報を得られるようになったことも増加につながった。

質疑　マスコットキャラクター管理・啓発事業では、マスコットキャラクターの利用申請件数が前年度から倍以上に増えているが、何か取組をしたのか。

答弁　市として積極的に活用していくという方針を出しており、庁内のイントラネット等の掲載を増やす対応をしている。

質疑　救急活動事業について、消防吏員は３１名増員になり、６隊から７隊に増隊もされたが、今後、さらに増隊の予定はあるか。

答弁　令和９年度に南分署に救急隊を１隊増隊する予定で今動いているので、令和９年度には８隊体制となる予定である。

こども教育常任委員会

質疑　屋内こども広場管理運営事業について、げんきっこ広場の利用者のうち市内と市外の人数、その割合を伺いたい。

答弁　令和７年度のげんきっこ広場の利用者数は８万４３８８人、うち市内が３万９２２人、市外が５万３４６６人で、市内と市外の比率は市内が３６．６％、市外が６３．４％である。

質疑　妊婦健康診査事業について、受診率が87. 6%であるが、受診されていない方へのアプローチはどのようにしているのか。

答弁　妊婦健診については、妊娠５か月から６か月時点で未受診者の状況調査を行っている。そのうち大半の方が流産で妊娠継続がないか、妊娠中の転入者となっている。未受診者には、個別に保健師から連絡して受診勧奨をするなどの対策を取っている。

質疑　教育用コンピュータ運用管理事業について、２億７１００万円余りの決算額になっているが、内訳と主なものを伺いたい。

答弁　需用費では教育用端末の購入費やパソコン修繕費が主なものである。そのほか、委託料でＩＣＴの包括業務委託や保守委託等、使用料でパソコンリース費の更新等、備品購入費では充電保管庫等の購入費に充てられている。

厚生常任委員会

質疑　成年後見制度利用促進事業について、令和７年度の成年後見支援センターにおける相談受付件数は、前年度と比較して増加傾向とのことだが、相談員を１人追加したからか。

答弁　国等も広報活動等に注力し、制度自体が徐々に浸透してきたことが基礎的要因として考えられる。また、相談員を１名増員したことにより、増大する需要を受け止めることができた結果と捉えている。

質疑　シルバー人材センター支援事業について、会員数の確保や新たな仕事の開拓という点で、どのような課題を認識しているか。

答弁　会員の減少と、会員の平均年齢の上昇が課題である。市では、そういった相談があった場合の支援と、広報活動への支援を実施している。

質疑　歩く健康づくり事業で、ウォーキングピックの参加者数が減った要因は。

答弁　実施回数を２回から１回に減らしたことが挙げられる。一方、事業を見直し、これまで４名以上でないと参加できなかったところ、今年度はペアの部をつくり、２人からでも参加を可能とした。今後もより市民が参加しやすい状況をつくっていきたい。

環境経済常任委員会

質疑　国際化推進事業について、先日の熊本の地震の際に、インターネットでの外国人に特化した情報提供が不足しており、課題が残ったという報道があったが、本市では外国人に対する災害情報に関する発信について何か取組はあるか。

答弁　大和市国際化協会と平成２７年に災害多言語支援センター設置・運営に係る協定を結んでおり、その中で、被災した外国人の情報収集や災害情報等の多言語での発信が盛り込まれている。最近は、危機管理課とも協議しＬＩＮＥへの登録を呼びかけており、通知を受けてホームページからすぐに情報を得て、それをおのおのが翻訳ツールで確認できる仕組みで動いている。

質疑　ゆとりの森管理運営事業について、運営している指定管理者と市とで、市民からの声に対応するのにどのように連絡を取り合っているのか。

答弁　スポーツ施設を所管している、指定管理者とみどり公園課、スポーツ×ライフ課の３者で年に６回定例会を実施し、情報を共有している。上半期、下半期の総括として年に２回のモニタリングでの報告会を行い、日々の細かな連絡は月報を用い、重大な相談内容があればすぐに連絡が来る体制になっている。

本会議・委員会は傍聴することができます

その他の主な委員会質疑

総務常任委員会

令和８年度一般会計補正予算（第２号）

質疑　基幹システム運用管理事務について、説明に「当初見込んでいなかった法制度改正等によるシステム改修費が発生するため、増額します。」とあるが、既存の契約で対応できなかった理由は何か。今後さらに法制度改正があった場合には、今回の契約で対応ができるのか。

答弁　このシステム改修は、令和８年度の当初予算要求時点では法制度改正自体は決まっていたものの、具体的な内容が固まっておらず、金額の確定ができなかったため、この補正予算によらざるを得なかった。今回の補正予算により、今年度中に法制度改正を見込むものは基本的に網羅できていると考えている。

質疑　財源内訳において、国庫補助金よりも一般財源の歳出のほうが多い。国の法制度改正によるものなのに補助率が低いのか。

答弁　今回の補正の要因となった改修案件は複数あり、案件ごとに補助率が異なるため、低い補助率のものもある。

環境経済常任委員会

令和7年度下水道事業会計決算及び利益の処分

質疑　経営指標の推移表の管渠老朽化率が年々増えており、老朽化が急激に進んでいると思われるが、今後の状況をどのように把握しているか。また、５年後、１０年後と修繕計画はあるか。

答弁　管渠の老朽化について、令和７年度末現在で１３．２２％だが、今後もその数値は増加していくと捉えている。これについては、管渠のストックマネジメント計画に基づき、重要度に応じて点検等を行い、その結果を基に改築、更新を進めていく予定である。今後の修繕計画については、直ちに補修等が必要なものはなく、調査結果により対応していくことになる。

令和８年度一般会計補正予算（第２号）

質疑　農業近代化等支援事業の詳細について確認したい。

答弁　農業資材全般の価格が高騰する中において、農家からの要望もあり、多くの農家が使用する肥料と園芸施設の加温に必要な燃油、Ａ重油に対して、補助を行うような内容となっている。



こども教育常任委員会

令和８年度一般会計補正予算（第２号）

質疑　草柳保育園調理業務委託料の債務負担行為補正の目的と理由を伺う。

答弁　現在の業務委託契約が令和８年９月３０日で終了するため、同年１０月１日から令和１１年９月３０日までの契約を予定していた。入札前に再取得した見積額が人件費の上昇や中東情勢等による物価高騰で増額し、債務負担行為の限度額を超過したため、そのままでは入札が行えず、増額補正が必要となった。



厚生常任委員会

令和７年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

質疑　人間ドック助成事業では、件数がかなり増加しているが、増加の要因を教えてほしい。

答弁　人間ドックの対象として、令和６年度は利用時に１年以上加入しているという条件をつけていたが、令和７年度はその条件をなくし、逆に３０歳以上の被保険者であることを条件にしたことで、受診のしやすさにつながったと考える。

令和７年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算

質疑　介護保険運営管理事務について、第１０期の介護保険事業計画策定で、市が課題とするものはあるか。

答弁　どのように保険料を設定するかなどは、審議会で慎重に審議していただく必要があると捉えている。

令和７年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

質疑　保険料を支払うことができない方に対しては、どう対応しているのか。

答弁　分納相談のほか、保険料で実際に軽減がかかる方でも、所得を申告していないことにより軽減されていない方もいる。よく状況等を伺い、適正な課税につなげる努力をしている。

令和７年度病院事業会計決算

質疑　令和７年度は８千万円の黒字とのことである。患者１人当たりの診療収益は入院も、外来も単価が増えたということだが、それらの一つの要因として、血液・腫瘍内科の再開が影響しているのか。

答弁　血液・腫瘍内科の診療再開で、抗がん剤等を使用している診療科においては単価が高くなる傾向があるので、その影響によるものだと捉えている。

可決された意見書を国に提出しました

○非核三原則の尊重と堅持を求める意見書
○憲法改正の正当性と手続について十分かつ慎重な議論を求める意見書
※詳細は、市議会ホームページを御覧ください。

人権擁護委員候補者の推薦に同意

人権擁護委員１１名のうち、任期が本年１２月３１日をもって満了する関水貴浩氏（福田）、関根孝子氏（つきみ野）、西部和廣氏（福田）、小西雅江氏（柳橋）、菊地慶子氏（福田）について、現委員を再任したい旨、また、櫻井吉孝氏（西鶴間）の任期が本年１２月３１日をもって満了することに伴い、小菅直樹氏（上草柳）を推薦したい旨の議案が定例会最終日に諮問され、議会は全員賛成でこれらに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員３名のうち、任期が本年１０月１５日で満了する伊藤廣幸氏（川崎市宮前区宮崎）について、再任したい旨の議案が定例会最終日に提出され、議会は全員賛成でこれに同意しました。

インターネットで配信中

本会議の様子は市議会ホームページで御覧になれます。生中継（本会議中）、録画映像のインターネット配信は、市議会ホームページの本会議中継（生中継・録画配信）からご利用いただけます。ご活用ください。

議会の動き（定例会以外の主なもの）

7月
15日　議会改革実行委員会
23日　議会運営委員会
8月
20日　議会運営委員会
9月
4日　議会改革実行委員会
14日　議会運営委員会
18日　議会運営委員会
24日　全員協議会
25日　議会運営委員会
10月
6日　広報委員会

１２月定例会の予定

11月
25日　本会議
27日　環境経済常任委員会
30日　こども教育常任委員会

12月
1日　厚生常任委員会
2日　総務常任委員会
3日　基地政策特別委員会
14日　一般質問
15日　一般質問
16日　一般質問
21日　本会議

日程は、都合により変更することがあります。
１２月定例会で審議される請願・陳情の受付は、**１１月１６日（月）の１７時**までとなります。


大和市イベントキャラクター ヤマトン

請願・陳情について

請願は、憲法で保障されている権利で、国や地方公共団体に意見や要望等を文書で申し述べるものであり、市議会への請願には紹介議員が必要です。提出された請願書は、委員会に付託して審査され、本会議で採決されます。

陳情も同様に文書で申し述べるものですが、法令に定めはなく、紹介議員は必要ありません。陳情書は、「陳情書の処理基準」に基づき、委員会付託又は全議員への写しの配布のいずれかの扱いとなります。

なお、委員会に付託されたものは、委員長の許可のもとに意見陳述を行うことができます。

請願書・陳情書は年４回開催される定例会で審議されます。定例会の招集告示日に行われる議会運営委員会の２開庁日前の午後５時までに提出されたものを、当該定例会で扱います。

詳細は市議会ホームページを御覧ください　大和市議会　検索　クリック

一　般　質　問　（9月15日・16日・17日）

自由クラブ　町田　れいじ
多発する鉄道人身事故 市としての対策は



その他の項目：災害対応について／古谷田市政について

自民党・新政クラブ　福本（ふくもと）　隆史（たかふみ）
将来を左右する市の課題 南北の人口バランス適正化を



その他の項目：令和８年８月千葉豪雨を受けて

公明党　山田（やまだ）　己智恵（みちえ）
こどもまんなか社会の推進を！



その他の項目：学校の危機管理について／三機ＭＩＲＡＩスポーツセンター大和（大和スポーツセンター）駐車場の利用料金について

自民党・新政クラブ　渡辺　伸明
丸子中山茅ヶ崎線の拡幅事業に係る課題について



その他の項目：先端産業の誘致と新たな産業用地の確保について

日本共産党　たかく　良美
公共施設の統廃合について



その他の項目：国民健康保険について／令和８年度大和市市政世論調査について

公明党　吉澤（よしざわ）　弘（ひろし）
予防接種について



その他の項目：エレベーターの保守点検について

自民党・新政クラブ　西田（にしだ）　恵美（えみ）
自治体ＡＸ・生成ＡＩの活用について



その他の項目：市長の教育に対する認識について／市立病院の経営と今後の見通しについて

自民党・新政クラブ　井上　貢
サンリオ・やまとふえありい やまとカワイイプロジェクト



自民党・新政クラブ　中村　一夫
特別支援学校誘致について



その他の項目：孤立死ゼロに向けて／民生委員・児童委員について／友好都市との連携について／平和教育について

神奈川ネットワーク運動　吉田　なな
財政制約の中で子育てしやすいまちにするために



公明党　鳥渕（とりぶち）　優（まさる）
公共施設の再編と分室・連絡所の在り方



その他の項目：激甚化する自然災害への対策について

日本共産党　ほりぐち　香奈（かな）
高齢者の移動を支え外出をあきらめないまちづくりを



その他の項目：子どもの命を守る熱中症対策について

QRコードを読み込むと各議員の一般質問の録画映像を御覧いただけます

一　般　質　問　（9月 15 日・16 日・17 日）

虹の会　大波　修二

平和について



大和維新× iRAISE　村田（あきら）　玲

都市鉱山について



その他の項目　障がい者の就労について／防災について

自民党・新政クラブ　古木　邦明

地域の暮らしを支える郵便局との連携について



その他の項目　伝統的な生活文化、地域文化の継承について／生活保護制度と生活困窮者支援について

自民党・新政クラブ　青木　まさし

大和駅周辺のまちづくりについて



その他の項目　災害対策について／寄附について

神奈川ネットワーク運動　布瀬　めぐみ

持続可能な地域づくりと自治会・コミセン



その他の項目　高齢者支援について

公明党　金原（かねはら）　忠博（ただひろ）

戦後８１年　戦争を知らない世代への平和の継承について



その他の項目　障がい特性に応じた柔軟な就労支援について

虹の会　石田　ゆたか

児童虐待相談が県の３倍急増 負担増重ねた市長の責を問う



その他の項目　民間委託の見える化を進めるために／コミュニティバスの運営に関わって／特別児童扶養手当の誤算定を受けて

大和維新× iRAISE　星野（ほしの）　翔（しょう）

子どもにツケをまわさない！「選択と集中」を断行せよ



立憲民主党　北島（きたじま）　康平（こうへい）

自治会の必要性をどう伝えていくのか



その他の項目　放課後児童クラブを利用する子どもの長期休業中の食の確保と支援について

一般質問とは

一般質問とは、議員がさまざまなテーマで、市政全般について市長等の考えをただすものです。住民生活に密接にかかわる事項を含め、市の一般事務に関して、その執行状況や将来の方針、行政課題などを各執行機関に直接質問して答弁を得るほか、議員から新たな政策を提言することもあります。

実際の本会議での様子は、６・７面に掲載のＱＲコードから、各議員の録画映像を御覧いただけます。

YAMATOKOKORON
やまとこころん

©1993 YAMATO CITY



QRコードを読み込むと各議員の一般質問の録画映像を御覧いただけます

議案の審議結果

自民新（自民党・新政クラブ）、公明（公明党）、自由（自由クラブ）、共産（日本共産党）、ネット（神奈川ネットワーク運動）、虹の会、立民（立憲民主党）、大和ｉ（大和維新×ｉRAISE）

《９月定例会で全員賛成で議決した議案等》

【報　告】
■第　６号　専決処分の承認について（損害賠償）

【諮　問】
■第　２号　人権擁護委員候補者の推薦について
■第　３号　人権擁護委員候補者の推薦について
■第　４号　人権擁護委員候補者の推薦について
■第　５号　人権擁護委員候補者の推薦について
■第　６号　人権擁護委員候補者の推薦について
■第　７号　人権擁護委員候補者の推薦について

【認　定】
■第　５号　令和７年度大和市病院事業会計決算について

【議　案】
■第３２号　大和市景観条例の一部を改正する条例について
■第３３号　令和８年度大和市一般会計補正予算（第２号）
■第３４号　令和８年度大和市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）
■第３５号　令和８年度大和市一般会計補正予算（第３号）
■第３６号　令和８年度大和市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）
■第３７号　固定資産評価審査委員会委員の選任について

【議員提出議案】
■第　６号　大和市議会会議規則の一部を改正する規則について

《その他》

【報　告】
■第　７号　令和７年度大和市継続費精算報告について
■第　８号　令和７年度大和市健全化判断比率について
■第　９号　令和７年度大和市資金不足比率について

《９月定例会で全員賛成ではなかった議案等》

○：賛成　●：反対

《９月定例会で全員賛成ではなかった議案等》		審議結果	各議員の賛否																															賛否数	
			自民新										公明					自由				共産		ネット		虹の会		立民			大和ｉ				○賛成	●反対
			古木邦明	町田浩文	西田恵美	福本隆史	渡辺伸明	赤嶺太一	井上貢	青木正始	中村一夫	小倉隆夫	河端恵美子	金原忠博	鳥渕優	山田己智恵	吉澤弘	河内孝彰	町田零二	木村賢一	堀口香奈	高久良美	吉田奈々	布瀬恵	石田裕	大波修二	北島康平	堀合研二郎	星野翔	村田玲						
【認　定】 第１号	令和７年度大和市一般会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○	※議長は表決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○				23	4
第２号	令和７年度大和市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○				23	4
第３号	令和７年度大和市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○				23	4
第４号	令和７年度大和市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○				23	4
【認定及び議案】 認定第６号及び議案第３１号	令和７年度大和市下水道事業会計決算及び利益の処分について	認定及び原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○				23	4
【議員提出議案】 第５号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書	原案可決	●	●	●	●	●		●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●				16	11
第７号	憲法改正の正当性と手続について十分かつ慎重な議論を求める意見書	原案可決	●	●	●	●	●		●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●				16	11
【請　願】 第８－２号	生活保護受給者の逝去に伴う貸主（大家）へのリスク負担軽減及び大和市独自の支援制度構築に関する請願書	不採択	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○				8	19
第８－３号	憲法改正の正当性と手続について十分かつ慎重な議論を求める請願書	採択	●	●	●	●	●		●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●				16	11
【陳　情】 第８－１０号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	採択	●	●	●	●	●		●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●				16	11
第８－１１号	避難所の早急な整備についての陳情書	採択	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○				26	1

〒242-8601　神奈川県大和市下鶴間1-1-1　電話 046(260)5503(直通)　FAX 046(262)2421　https://www.city.yamato.lg.jp/gyosei/soshik/29/4374.html
市議会だよりの配布に関する問合せは、(株)メディア・ソリューション・センターへ　電話 0120－221－523(月～土曜日9:00～17:30〈祝・休日を除く〉)